

第26号(2019年度 夏休み特集)

山城地域 聴覚障害児 デイサービス新聞

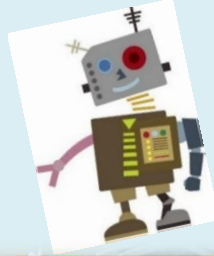
発行日 2019年 (R1年) 11月1日
発行者 聴覚障害児デイサービス事業実行委員会
〒610-0121 城陽市寺田林ノ口11番64
TEL 0774-30-9000
FAX 0774-55-7708

2019年夏の取組み

科学実験



『不思議なアートのぞき箱』を作ったよ!



親子でBBQ



川で水遊び♪



流しそうめん



自分たちでそうめんの準備をしたよ!

合同企画「京都鉄道博物館」



みんなでパシャリ★

新幹線や電車の前で
パシャリ★

『ボス・ベイビー』の最後の
シーンにみんな見入ってました

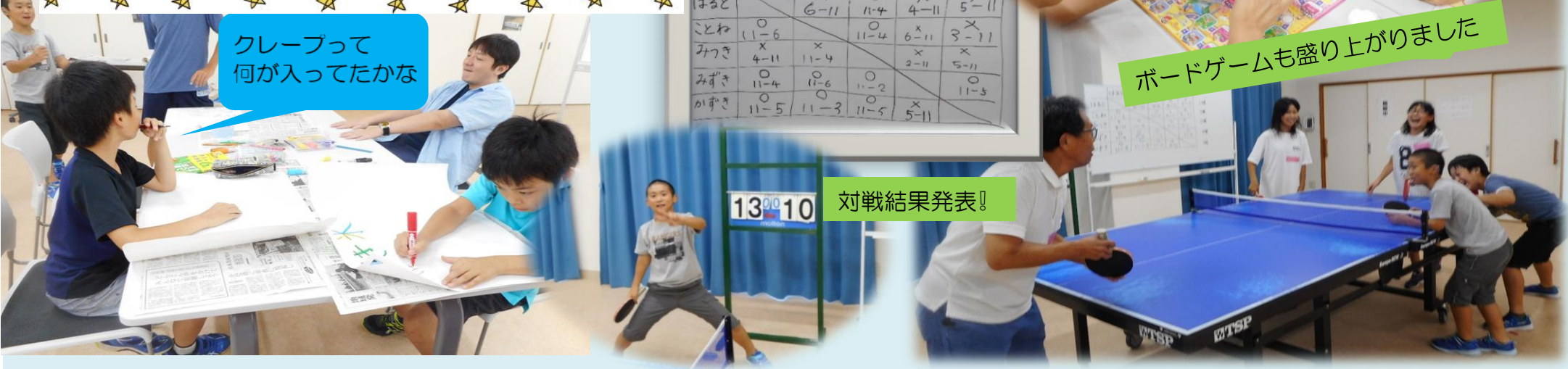
映画鑑賞&屋台ごっこ準備

クレープって
何が入ってたかな

ほると	ことわ	みつき	みずき	かずき
ほると	○	○	○	○
ことわ	○	○	○	○
みつき	○	○	○	○
みずき	○	○	○	○
かずき	○	○	○	○

ボードゲームも盛り上がりました

13対10 対戦結果発表!



聴覚障害児デイサービス Q&A

Q. 聴覚障害児デイサービスってなに？ 参加できるのはどんな子ども？

A. 夏休み、冬休み、春休みに小学校・中学校に通う子どもたちが集まり、様々な取り組みを行っています。プール遊びや科学実験、流しそうめん、クリスマスパーティ、書初めなどが定番の取り組みです。聴覚障害のある子どもたちやその兄弟・姉妹、お友達、聴覚障害者の保護者を持つ子どもたち、家族に聴覚障害者がいる子どもたち、聴覚障害のある幼児（保護者と一緒に参加）が参加できます。

Q. いつから始まった取り組み？

A. 2009年から始まった取り組みです。ろう学校に通う子どもたちは、家に帰ると地域の学校に通う子どもたちと触れ合う場所がなく、地域の学校に通う聞こえにくい子どもたちは、同じ聞こえにくい子どもと会うことが少なく、手話で話す機会もほとんどありません。どの学校に通う子どもたちもみんな楽しく過ごせる場所を作りたいなあ…という声があり、デイサービスが始まりました。

Q. 聞こえにくいお友達が付けている補聴器ってなに？

A. 聞こえにくい音を大きくする道具です。音を大きくする機械のため、大声や大きな音はもっと大きく聞こえ、補聴器を付けているお友達がびっくりすることもあります。補聴器を付けても正常の聞こえ方にはなりません。

☆もっと聴覚障害児デイサービスや補聴器のことを知りたい人へ☆ ①を読みたい人は実行委員会 事務局までご連絡ください。

①聴覚障害児デイサービス実行委員会（2012）『きこえない・きこえにくいってなあに？』

②加我君孝（2016）『耳と補聴器のひみつ』（学研まんがでよくわかるシリーズ121）学研プラス



手話教室



宿題も頑張りました！

ピザ作りの説明はしっかり聞いておかないと！

たからの里見学



みんなで一緒に作ったからおいしいね！

屋台ごっこ



タピオカジュースを作ったよ！

ポスターは力作なのに今年のかき氷は作りませんでした(・´з`・)

編集後記

11年目の聴覚障害児デイサービスが始まりました。

当たり前ですが、子ども達は毎年大きくなります。少しずつメンバーが入れ替わります。今年はちょうど大きな入れ替えの時期でした。今年、中学生になった子どもが多かったため、部活動が忙しく、通える回数が減りました。また、新しく小学生になったばかりの子どもは、公共交通機関を使って自力で通えるのに時間がかかり、通える回数が減ります。今年はこの取り組みの日も平均して参加者が減りました。

でも、成長した子ども達が高校生や大学生になってボランティアで戻ってくる姿を、みんな見えています。「中学生になって、なかなか児童デイに通えなくなるけど、また高校生になったらボランティアをしに戻ってくる」と、感想を寄せてくれた子どもがいました。こんな感想をもらうと「あ～、やっぱりこの活動を続けていて良かった！」と心底思います。私たちは、子ども達がいつでも帰って来られる居場所、ホッとできる場所を用意して待っています。

京都府からの助成金（地域交響プロジェクト交付金）は今年度を含めて3年で終了する予定です。今後、どのように運営していくのか、継続には大きな課題があります。皆さまの知恵をお借りし、ご協力を頂きながら、この活動を継続させていかなければなりません。皆さまには日ごろの感謝をお伝えすると同時に、さらなるご協力をよろしくお願い致します。

追伸 地域のみなさまへ

補聴器や人工内耳を付けているお子さまを見かけたら、ぜひ「聴覚障害児デイサービスがあるよ」と紹介してくださいね。

実行委員長